



注意 ご使用になる前に必ずお読みください。(本書は大切に保管してください)

■安全にご使用頂くために

本書では危険を伴う操作・お取扱について、次の警告記号を用いて重要な部分が一目で判るようにしています。内容を良くご理解の上で本文をお読みください。



警告 この表示を無視して、誤った取扱をすると人が死亡又は、重症を負う可能性が想定される内容を示します。



注意 この表示を無視した取扱をすると、人が障害を負う可能性が想定される内容及び物的損害の発生が想定される内容を示します。

●設置 注意

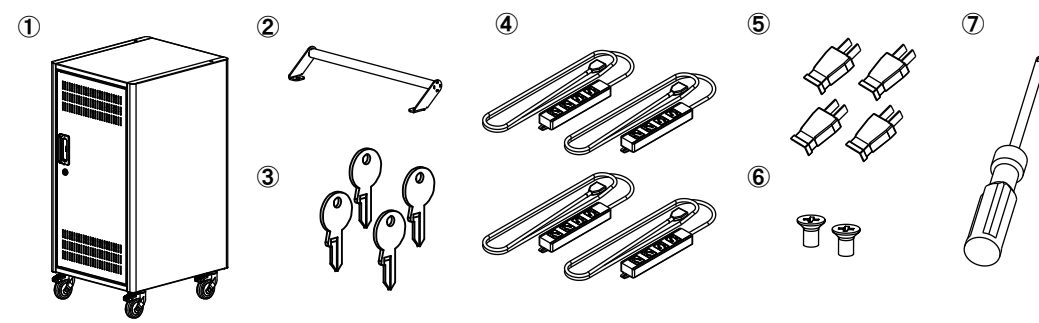
- タブレット以外の機器を搭載しないでください。搭載できないタブレットの機種がございます。ご確認ください。
- 移動時以外は必ず、キャスターのストッパーをかけてください。
- やわらかい床面、傾いたところなど不安定な場所に設置しないで下さい。転倒し怪我の原因となることがあります。
- 斜面に設置しないでください。自走し転倒する恐れがあります。
- 搭載荷重以上のものを搭載すると転倒し機器の破損、怪我をする恐れがありますので搭載物の質量を確認し搭載してください。
- 防水構造ではない為、雨や水滴がかかる場所には設置しないでください。機器が破損する恐れがあります。
- 本機は室温が30度以下の場所へのみ設置が可能です。室温が30度を超える場所へ設置する場合、保管しているタブレットに悪影響を及ぼす可能性があります。

●使用方法 注意

- 移動する際は、見通しが悪くなりますので周囲を確認し、ゆっくり移動してください。
- 移動時段差がある場合は、ゆっくり移動してください。
- 本機に乗る、脚をかける、ぶら下がる、棚の上に乗る等の行為をすると転倒し怪我の原因となることがあります。
- 設置後はボルトの緩みがないか定期点検を実施してください。
- 電源容量0.5A以上のタブレットを搭載する場合は、設置場所のコンセント差込口の容量を確認の上、適切な方法で電源の取り回しを行ってタブレットを充電してください。
- 設置場所のコンセント差込口がアース端子の入らない2ピン用の場合は、添付の変換プラグをOAタップのコンセントの先に挿してお使いください。

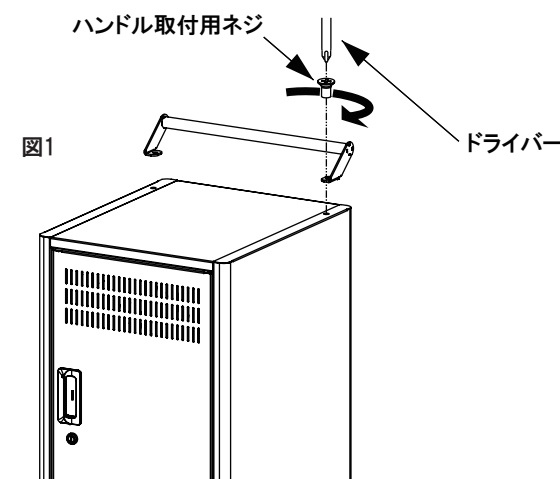
セット内容

番号	部品名	数量
①	本体	1ヶ
②	ハンドル	1ヶ
③	鍵	4ヶ
④	OAタップ	4ヶ
⑤	変換プラグ	4ヶ
⑥	ハンドル取付用ネジ	2ヶ
⑦	ドライバー	1ヶ



1. ハンドル取付手順

- ハンドルを本体天面のネジ穴に合わせ、付属ドライバーにてハンドル取付用ネジ2本をしっかりと締め込み取り付けください。(図1)



2. OAタップ設置手順

- 背面パネルのラッチを内側に動かし、鍵を解錠した後、背面パネルを手前に少し倒してから、持ち上げて取り外してください。(図2)
- ※背面パネルの取外し方法は裏面の「1. 扉・背面パネル」の部分を参照してください。
- 背面パネルを外したら、OAタップトレイに各1個ずつOAタップを載せてください。(図3)

図2

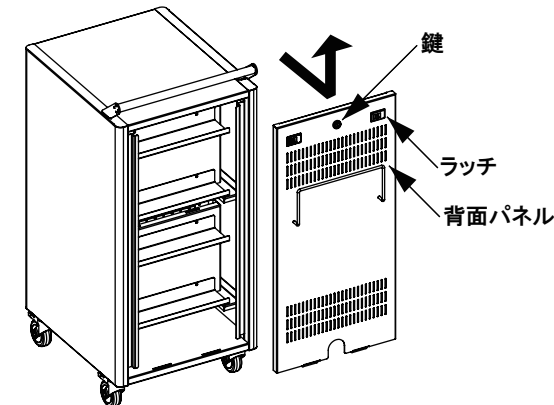
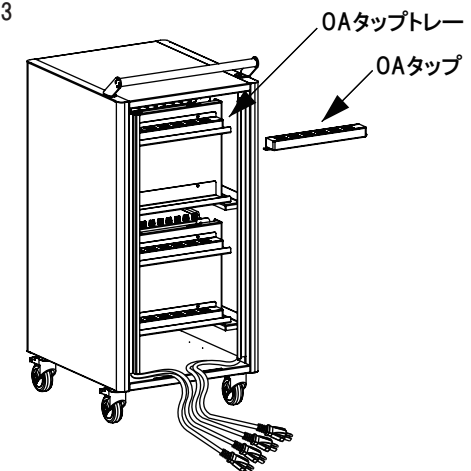


図3



3. タブレット設置手順



- 充電ケーブルを取付ける際は、棚板を本体から外して作業を行ってください。
- 必ずキャスターのストッパーが掛かった状態で設置作業を行ってください。落下し機器の破損、怪我をする恐れがあります。
- 棚板を本体に取付けた後にタブレットを収納してください。
- 各棚板に10台以上のタブレットを載せないでください。ワゴンが転倒し機器の破損、怪我をする恐れがあります。
- 電源容量0.5A以上のタブレットを搭載する場合は、設置場所のコンセント差込口の容量を確認の上、適切な方法で電源の取り回しを行ってタブレットを充電してください。
- 設置場所のコンセント差込口がアース端子の入らない2ピン用の場合は、添付の変換プラグをOAタップのコンセントの先に挿してお使いください。

- 前面側から、棚板下部のネジを取外して棚板を少し手前に引き出し、側面の穴を持って取り出してください。(図4)
- ※トレイの丸棒部分を持って、持ち上げないでください。
- 棚板を取り出した後、充電ケーブルトレイに充電ケーブルを並べ、ケーブルクランプに上から通してください。(図5)
- 棚板を取り出した要領で、ワゴン本体に戻して、ネジで固定してください。
- 棚板設置後、背面パネルを開け、充電ケーブルをOAタップに差し込んでください。
- ※充電ケーブルと電源アダプタが取外せるタイプの充電器の場合は、電源アダプタのみを先にOAタップに差し、その後で充電ケーブルを電源アダプタに繋いでください。(図6)
- 充電ケーブルの準備が終わったら、タブレットを搭載します。タブレットの電源ポートが前面側になるように、タブレットを落ち止めより奥に搭載し、充電ケーブルとタブレットを繋いでください。(図7)
- ※タブレットは各スペースに1台ずつ搭載してください。

図4

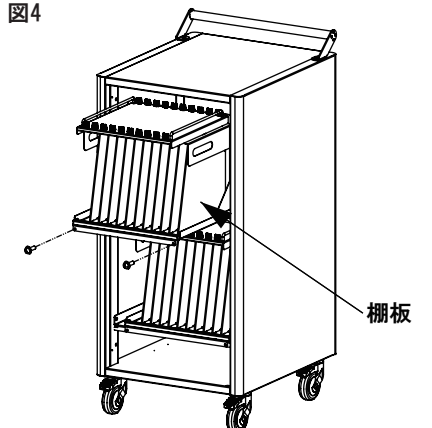


図5

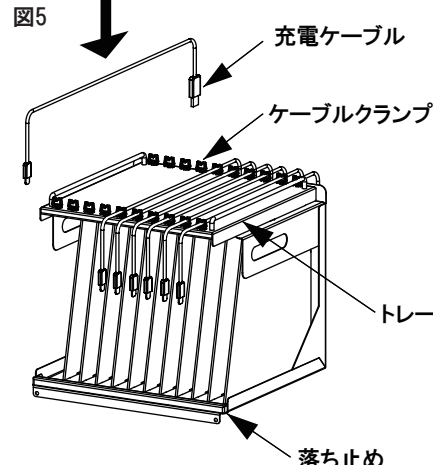


図6

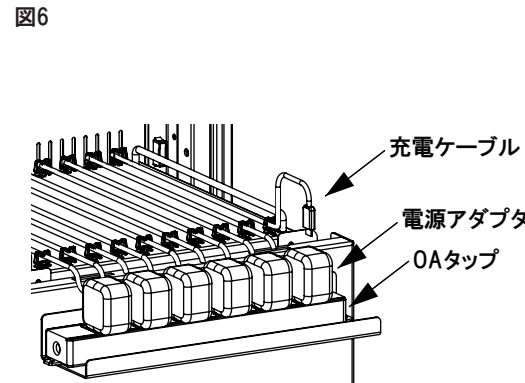
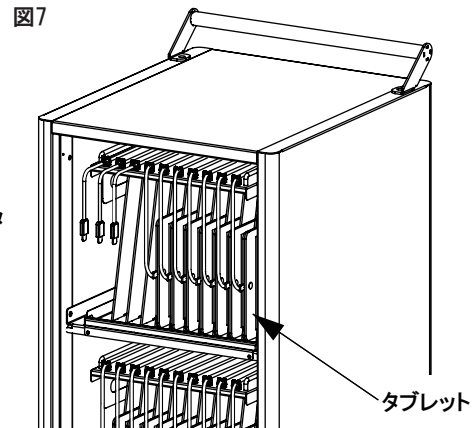


図7



4. 機能

1 扉・背面パネル

- 扉の鍵穴に付属の鍵を差込み、解錠し扉を開けてください。鍵穴の上に開閉表示が付いており、青の場合は解錠、赤の場合は施錠を意味します。(図8)
- 背面パネルはラッチを内側に動かすとロックが外れます。背面パネルにも、扉と同じ鍵が付いています。鍵穴に付属の鍵を差込み、解錠してください。その状態でパネルを少し手前に倒すようにし、上に持ち上げて取外してください。(図9)
- 背面パネルを取付ける際は、ワゴンの底板のスリットに背面パネル下部の凸部を差込み、ラッチがロックされるまで背面パネルを奥に押してください。※背面パネル取付けの際、ラッチがロックされない場合は、手でラッチのつまみを外側に動かしてロックしてください。
- ※背面パネル取付けの際、ケーブルが背面パネル下部のケーブル通し穴から通るように取付けてください。

図8

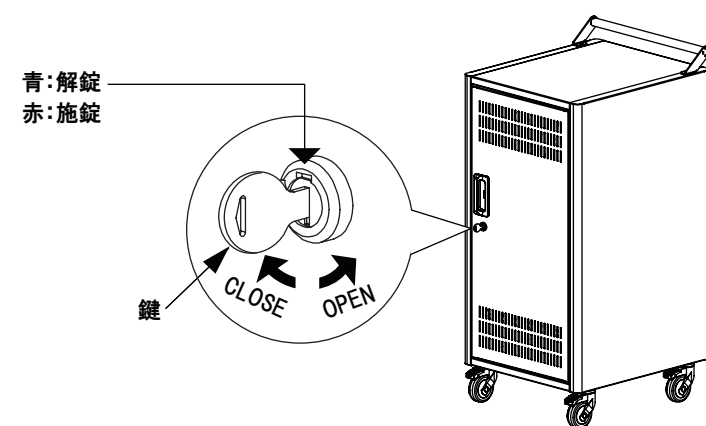
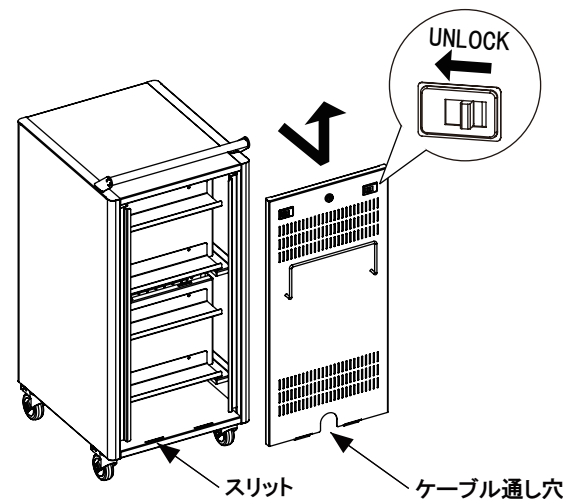


図9



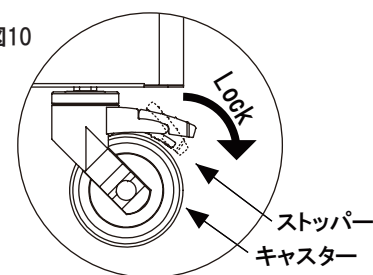
2 キャスターストッパー



- 移動時以外は、キャスターのストッパーをかけ、自走しないようにしてください。不意に動き出し転倒し機器の破損、怪我をする恐れがあります。
- 移動時はキャスターのストッパーを解除してください。キャスターが破損する恐れがあります。

- キャスターのストッパーつまみを下方へ倒すと車輪の回転にロックがかかります。(図10)

図10

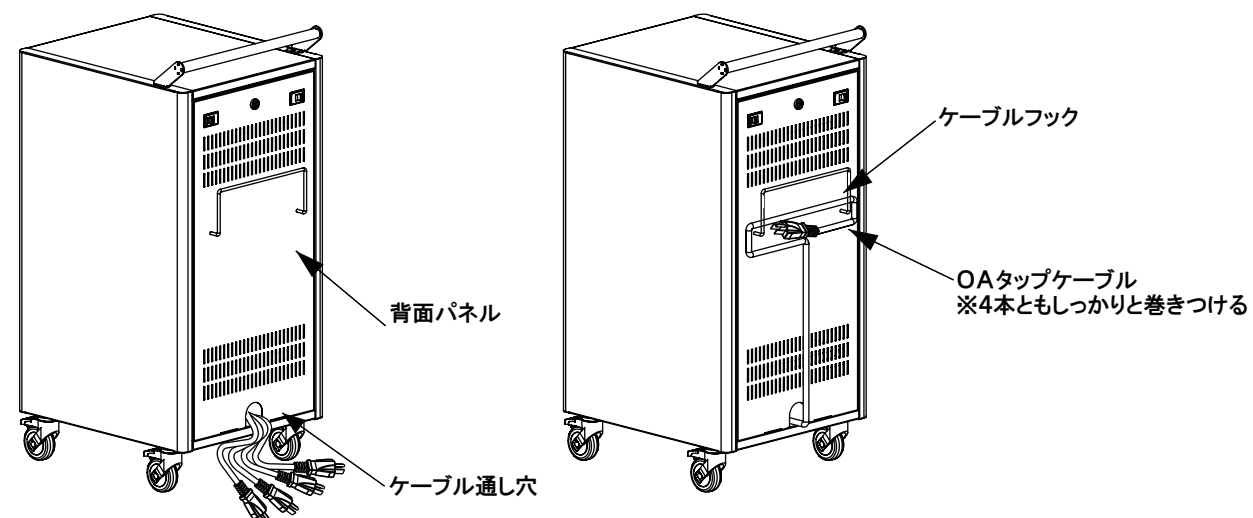


3 ケーブル引き回し

- OAタップの電源ケーブルは4本とも背面パネル下部のケーブル通し穴から引き出してください。(図11)
- ※OAタップ同士の接続は行わないでください。
- ワゴンの移動時は外に出たケーブルを背面扉のケーブルフックに巻いてください。(図12)

図11

図12



5. メンテナンス

4 仕切り板交換方法

- 棚板下部のネジを外し、棚板を取り出してください。(図13)
- 棚板の背面のネジを6ヶ所外し、充電ケーブルトレイと上板を外してください。(図14)
- 新しい仕切り板を、棚板のスリットに合わせて差し込んでください。
- 全ての仕切り板を差し込み終わったら、充電ケーブルトレイと上板を外した要領で再度取付け、本体に戻しネジで固定してください。

図13

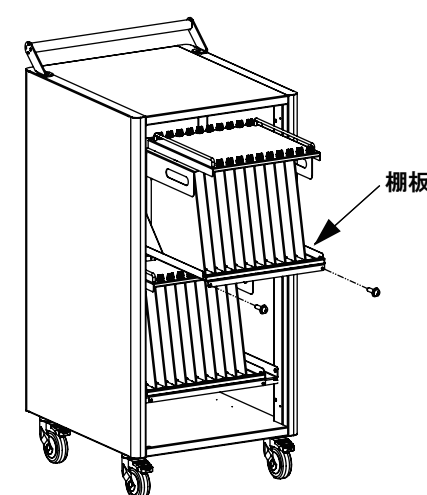


図14

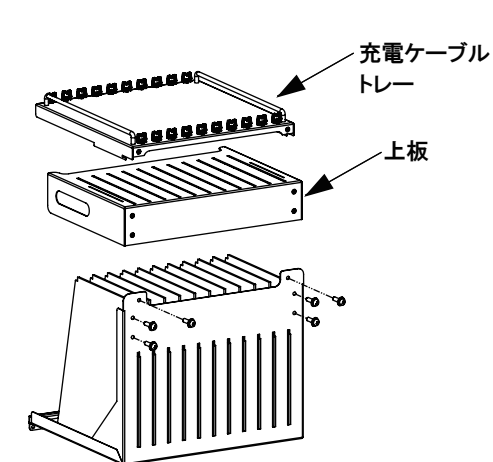
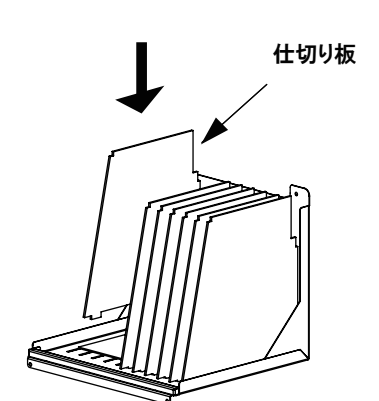
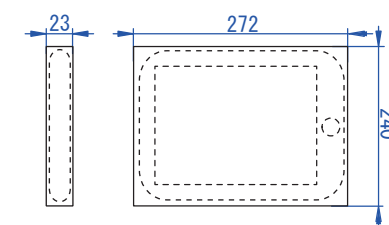


図15



6. 仕様図

タブレット収納部有効スペース



外観図

